

反転が生み出す論文執筆のブレークスルー  
ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

オーガナイザ： 小西達裕（静岡大学），西野和典（九州工業大学）  
松原行宏（広島市立大学），光原弘幸（徳島大学），國宗永佳（千葉工業大学），  
松田憲幸（和歌山大学），編集委員会

論文の投稿や査読について、お悩みや不安、疑問はないでしょうか？

本学会の論文カテゴリは「一般論文」，「実践論文」，「ショートノート」，「実践速報」の4つです。たとえば，論文を投稿したいがカテゴリの違いが判然としない，実践論文が満たさなければならない基準って何だろう？，研究を進める上でのポイント・ヒントを知りたい，査読における考え方を整理したいなど，投稿や査読に関するあらゆるお悩み・不安について，編集委員と参加者が知恵を出し合う対話を通して論文投稿のブレークスルーを見い出します。

学会誌編集委員会では2015年まで，全国大会プレカンファレンスとして，チュートリアル『編集担当委員が語るJSiSE論文投稿入門』を実施し，資料および映像をホームページに掲載してきました。

論文執筆チュートリアル：

<http://www.jsise.org/journal/tutorial.html>

- ・ 論文投稿から掲載までの流れ、投稿に際しての注意
- ・ 論文種別と採録基準—現状と改訂の方向性—
- ・ 査読の観点と査読コメントに対する対応のノウハウ
- ・ 教育現場の取り組みを実践系論文にまとめるには

一昨年度から，論文投稿に関わる相談会を，上記コンテンツを事前に関覧・視聴してから，対面の相談・議論に臨む“反転＋ディスカッション”ベースで実施し，参加者からご好評をいただきました。本年度も同様に継続します。投稿を予定しておられるなど，ご相談を希望される方（Advisee）の手順は下記です。Advisee以外の聴講のみのご参加も歓迎です。みなさまのご来場をお待ちしております。

1. 【事前】 学会員メーリングリスト jnews の募集に沿って参加希望を提出
2. 【事前】 チュートリアルを閲覧
3. 【当日】 投稿予定の研究や執筆上の懸案を発表
4. 【事後】 論文投稿（可能であれば）

※ 希望者多数の場合は学会誌編集委員会で選定します。

※ 事前に発表スライドなどの資料の提出をお願いすることがあります。